

長浜市の場合

旧西浅井町では23.6%の投票率低下

市長選挙	投票所数		2010年		2022年		増減
	旧	新	投票者	投票率	投票者	投票率	
旧長浜市	26	13	33,148	52.31	32,339	50.51	-1.80
旧浅井町	14	5					
旧びわ町	9	2					
旧虎姫町	8	1	3,023	66.50	2,018	51.05	-15.45
旧湖北町	16	3	4,781	66.55	4,238	62.88	-3.67
旧高月町	4	4	5,489	66.87	4,686	59.63	-7.24
旧木之本町	16	4	4,840	71.34	3,071	54.31	-17.03
旧余呉町	12	2	2,427	77.32	1,512	58.95	-18.37
旧西浅井町	18	2	2,964	77.71	1,720	54.05	-23.66
合計	123	36	56,672	58.40	49,584	52.76	-5.64

長浜市選挙管理委員会HPデータをもとに作成。旧長浜市に旧浅井町・びわ町を含む

投票所が統廃合される地域は、人口有権者が少ない過疎地域です。投票所は過疎だから集約してもよい、ということではありません。一票の重みを大事にすれば、可能な限り投票の機会を保障することが第一です。三年・四年に一度の選挙だからこそ、投票しやすい環境を確保することが選管に求められるのではないのでしょうか。移動タクシー支援を利用したのは、10数件とわずかでした。身近なところに投票所があれば、もつと投票する人が増えたのではないのでしょうか。投票所削減は、投票の機会を奪うことに繋がります。

民主主義の根幹である選挙で、投票の機会を確保することは最も大事なことです。長浜市の場合、投票所が一気に三分の一に減らされました。大型商店街での期日前投票や「共通投票所」の導入、タクシーによる移動支援等の対策が講じられましたが、やはり18カ所から2カ所に激減した旧西浅井町では約24%も投票率が落ちていきます。旧余呉町(約18%減)・旧木之本町(約17%減)も同様です。8カ所あった旧虎姫町もたった1カ所となりました。約15%減となりました。

「投票所」大幅削減 95カ所を37カ所に シリーズで考える 「こころ」が問題



甲賀市議会 29日から12月議会開会

12月定例議会が29日から始まります。29日に議案提案され、7日に議案質疑、8日から13日まで一般質問、その後各常任委員会が開かれ、12月22日には議案採決となります。市政に対するご意見・ご要望、ぜひお聞かせ下さい。



谷永議長に議会の民主的運営を申し入れ

日本共産党甲賀市議員団は22日、議員の資質の向上と議会の民主的運営が大事であるとして、新しく議長に選任された谷永議長に「議会の民主的運営に関する申し入れ」を行いました。一般質問に「関連質問」を設けることや「質問主意書」などの手法も導入するよう提案しました。

22日に議会運営委員会が開かれ、29日から開会の12月定例議会に執行部から提案する議案が発表されました。人事案件2件、条例案件12件、補正予算9件、その他8件の31件です。

一般会計予算の補正額は、11億1445万6千円。歳出の主なもの、物価高騰の影響による庁舎維持管理事務費、小学校施設管理事務費など、7670万円、信楽保育園・信楽幼稚園施設整備に係る経費8億2400万円、伴谷統合認定こども園整備に伴う旧園舎解体工事に係る経費1億4970万円、旅行需要が高まる中、観光誘客に取り組むため、団体旅行に対する補助金を増額する歴史文化都市構築補助事業4500万円など。

日本共産党の岡田重美議員が6月議会にて提案した市立保育園におけるおむつ自衛処分のための備品購入に係る経費165万円も予算化されました。

12月議会における条例案件のうち4件は、公共施設使用料の見直しに係る基本方針に基づき、使用料の見直し、改定を行うための改正です。市民からも料金が上がれば利用できない、値上げは撤回すべきとの意見が出ており、再考すべきと質してまいります。

日本共産党 甲賀市議員団ニュース 2021年 11月 27日 第428号	山岡 光広 甲南町森尻 16 TEL 86-2985 Fax 86-0415	岡田 重美 土山町南土山甲 78-15 TEL 66-0696 Fax 66-0696	西山 実 水口町本丸 3-28 TEL 62-3044 Fax 62-3044
--	---	--	--